


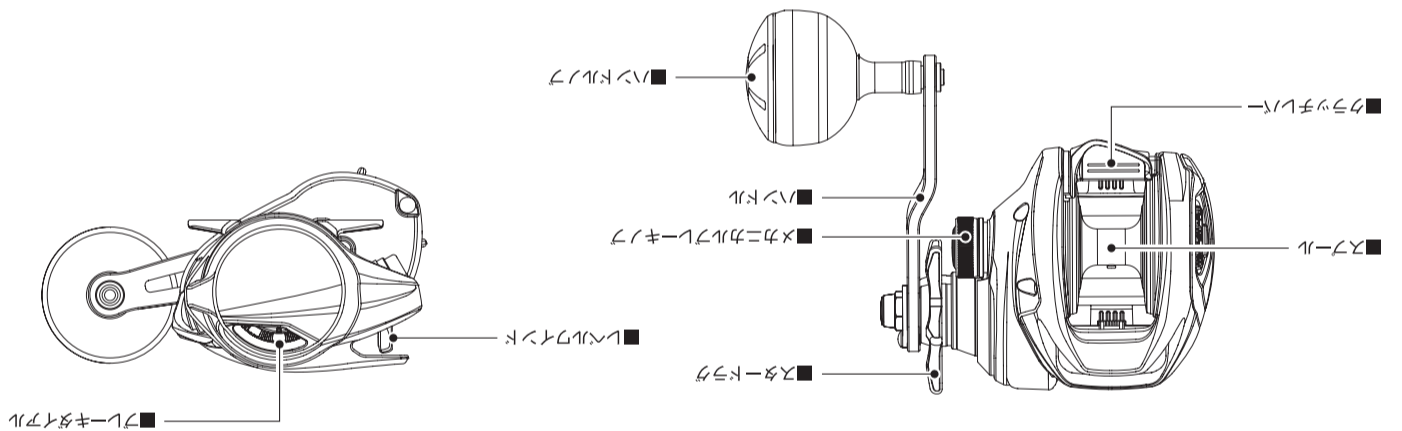


安全上・ご使用上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ●糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをされるおそれがあります。 ●ハンドルとボディの間に手をはさまると、けがをされるおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●糸が勢よく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。 ●メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをされるおそれがあります。 ●リールを砂地に直接置いたり、海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や泥水が入ると、思わぬトラブルの原因となります。 ●根掛かりした時は、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布きれを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。 ●リールはていねいに扱ってください。移動時、特に投げ投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。 ●キャストの時にはクラッチを切るのを忘れないでください。仕掛けが出て行かず、けがをされるおそれがあります。 ●リールを釣り以外の目的で使用しないでください。 ●リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。 ●幼児の手の届くところには置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●回転しているスプールには触れないでください。けがをされるおそれがあります。

各部の名称 ※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。



品番	ギア比	最大ドラッグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻容量 (PE号-m)	最大巻上長 (cm/ハンドル1回転)	ハンドル長 (mm)	ハンドル回転数 (ボア/ロー)
301HG	7.6	7.0	345	1.5-500, 2-380, 3-250	103	75	5 / 1
300HG	6.3	7.5	340	1.5-500, 2-380, 3-250	85	75	5 / 1
301XG	7.6	7.0	345	1.5-500, 2-380, 3-250	103	75	5 / 1
300XG	6.3	7.5	340	1.5-500, 2-380, 3-250	85	75	5 / 1

仕様一覧

■スプール糸巻き部の溝は、それぞれ1/3、2/3を表しています。

- PEライン1号等の細いラインを使用した際、糸の巻き過ぎ、片寄り、バックアップ等が発生しますとスプールのスムーズな巻き込みが難しくなりますので、ライン等の糸のご使用はお避けください。ラインを巻き下す場合は、5号以上の太さをライン専用スプールと比べてお選びください。細いラインを巻き下す場合はスプールの変形が懸念されます。
- オートリターン機構を搭載しておりますので、バックアップは可能ですが、オートリターンには向きが異なります。(ハンドルが軽くオフがONになる可能性があります。)
- ※詳細はシマノホームページで確認ください。
- 糸巻量は参考値です。糸巻時のラインテンションや糸の直径など、様々な要因によって、実際に巻ける量が前後する可能性があります。
- ※糸巻時の推奨ラインテンションは、二次元コードからご確認ください。



サービスのご案内

- 弊社純正品以外の取り付けによる不具合は保証いたしません。また、弊社純正品以外の部品が取り付けられたままでの修理は断ります。弊社純正品以外の部品が取り付けたままでの修理は断ります。また、弊社純正品以外の部品が取り付けたままでの修理は断ります。
- 不具合が生じた場合はそのままの状態でお買い上げの販売店へお持ち込みください。詳しい症状をお伝えいただき、修理をご依頼ください。
- 修理に出される場合は、お買い上げの販売店に現品をお預け願います。
- 修理には必ず、不具合が生じたままの状態でお持ち込みください。修理箇所、不具合内容を具体的に(例/スプールが動かない)お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、ダイレクトサービス(https://www.shimanoofishingservice.jp/repair/direct_guide.php)をご利用ください。修理品は部品代のほか工賃を頂きますのでご了承ください。商品の故障などによって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- 自分で修理をされる場合の部品や替えスプールの取り寄せは分解図をご覧ください。部品名・商品番号・部品番号・部品名・パーツNo.をご指定のうえ、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。(例/製品名: ストラ C2000S 商品コード: 043832 部品番号 131 部品名: スプール組 / パート No.10TH0) 自身で分解される場合の、分解、組立方法は弊社ではご案内致しかねます。
- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性があります。
- 商品コード / 製品コードの位置
バックアップ底面もしくは側面に製品コード及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示していません。

GRAPPLER
300HG
301HG
300XG
301XG

取扱説明書
SHIMANO

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書の内容は予告なく更新させていただくことがあります。最新版はWEB版をご参照ください。

株式会社シマノ 釣具事業部

本 社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ

0120-861130 (ハローイイサオ) [通話料無料] をご利用ください。
受付時間: AM9:00~12:00・PM1:00~5:00 (土、日、祝日、弊社休業日を除く)

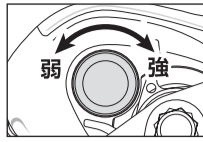
●シマノホームページ アドレスは www.shimano.com です。
新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログのお申し込みも受け付けています。

使用方法・リールの準備

※説明書中のイラストは実際の製品と異なる場合がございます。

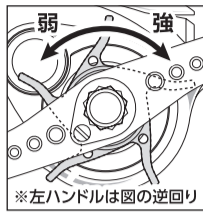
■メカニカルブレーキノブ

メカニカルブレーキは、スプールの回転にブレーキをかけるものです。右に回すとスプールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくと、そのブレーキは弱くなります。



■スタードラッグ

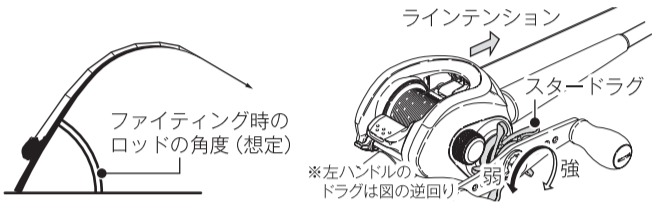
ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラッグが締まります。



■ドラッグの調整方法

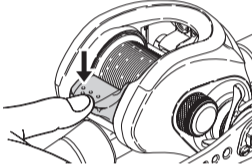
ドラッグとは、その強弱を調整することにより、急激な魚の引きに対し、スプールが逆転して糸切れ（ラインブレイク）を防ぐ機構です。又、その逆転時に発生する抵抗値をドラッグ力と言います。

1. 実際に使用される竿にリールをセットし糸をガイドに通してください。
2. クラッチを“ON”の状態にして、想定されるファイティング時のロッドの角度を保って、図のように糸を引き出しながらスタードラッグの締め付けを調節してください。その際、出来るだけ実際の状況に近づける為、対象とする魚の泳ぐスピードを想定して糸を引き出してください。

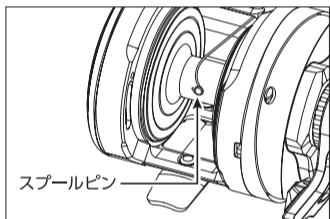


■クラッチ操作方法

親指でクラッチレバーを下に押しとクラッチが切れ、スプールはフリーの状態になります。カチッと音がするまで確実にクラッチレバーを押してクラッチを切ってください。

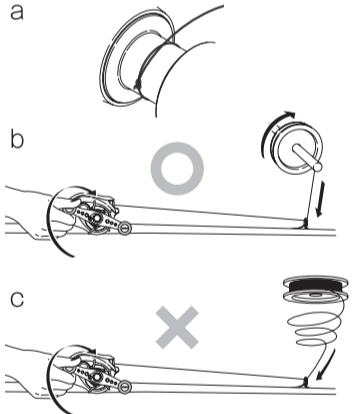


■スプールピンに糸を結んでください。



■糸の巻き方

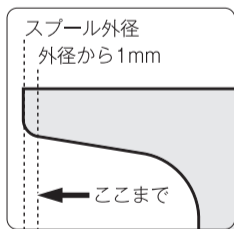
1. ドラッグを強く締め込みます。
2. リールを竿にセットします。
3. 元ガイドから糸を通してスプールに結びます。（図 a）
4. 糸が巻かれているポビンに、割り箸や鉛筆等の軸になるものを通します。
5. そのポビンと軸を誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけて、ポビンを回転させながら糸を巻き取るようにして下さい。（図 b）図 c のようにならないようご注意ください。



尚、PE ラインを巻かれる時は、事前に PE ラインを十分に湿らせてください。巻き上げ時に発生する熱（抵抗熱）によって PE ラインが劣化するのを防ぐためです。

●推奨糸巻量

糸巻量はスプール外径から 1mm の位置まで巻くことをおすすめします。



■サイドプレートの脱着方法

図のように本体Bカムレバーを上向き中央まで上げることで本体B組を本体から外すことができます。釣りに使用される時や、持ち運びの時はレバーが水平の位置にあり、ロックされている状態にしてください。

※ライトハンドルのイラストで説明しています。

①本体Bカムレバーを上向き中央まで上げますと本体B組が取り外せます。

※本体B組のガタツキをおさえるためフリクションがかかる構造になっていますので、取り外しが少し重いものもあります。

※本体B組を外した状態で、開口部を下に向けると、スプールが脱落し、変形する恐れがありますので、ご注意ください。

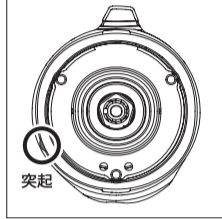
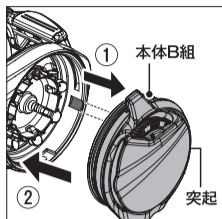
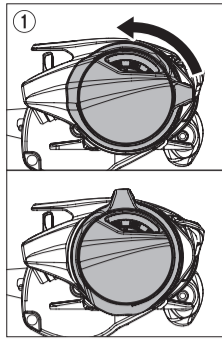
②本体B組を開けると、スプールが本体B組側に寄せられているため、構造上本体B組が閉じられなくなります。本体B組を閉じる際は、必ずメカニカルブレーキノブを緩めてください。

※本体B組は本体から外した状態で本体Bカムレバーを緩めてください。

※本体B組は本体から外した状態で本体Bカムレバーを緩めてください。

②閉じる際は逆の手順で、本体Bカムレバーを上向き中央の位置にあり、図の突起がフレームの溝にはまるように本体にしっかり奥まで押し込んでから、本体Bカムレバーを水平の位置まで下げてください。

※本体B組を本体から外した状態で本体Bカムレバーは回さないようご注意ください。回した場合、内側図のように本体Bカムレバーの突起位置を直してから本体に組み込んでください。



■ブレーキ調整方法

スプールに搭載されたブレーキシューとボディ外側についたブレーキダイヤルでブレーキ力を調整します。スプールに搭載された

8個のブレーキシューを図の要領で、ON / OFF 切り替えることで基本的なブレーキ調整ができます。

ON にするブレーキシューの数が多いほどブレーキ力は強くなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

ON にするブレーキシューの数が多いほどブレーキ力は強くなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

次に外部に搭載されたブレーキダイヤルを回すことで、細やかなブレーキ調整が可能です。ダイヤル上の数字が大きくなる方向へ回転させると、ブレーキ力が大きくなります。

お手入れ方法

特に海水・汽水域でリールをご使用された後は、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後にメンテナンスを行うことをお勧めします。

① 必ず竿から外してください。

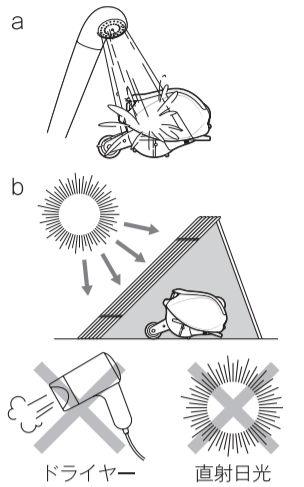
使用後は、必ず竿から取り外して、真水で水洗いしてから保管ください。例え、水洗いされても、竿とセットしたまま放置されますと、リールのフット部とリールシートのフード部に水が溜まり、腐蝕する恐れがあります。

② 水洗いしてください。

ドラッグをしめ込んでから、ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしながら、シャワー等の真水で、1～2分間水洗いしてください。（図 a）

スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくことさらに効果があります。スプールに水分や汚れが残ったままリールに組むと、スプールのフリーが悪くなりますので、必ずふき取ってから組み込んでください。

※温水はグリスを洗い流す可能性があるためお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。



③ 乾燥させてください。

ハンドルやクラッチ等の作動部を動かしてよく水を切った後、ドラッグをゆるめ、直射日光を避けて陰干ししてください。（図 b）※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。※隙間に残った塩分や錆による固着を防ぐため、乾燥中は 1 日に 1 度はハンドルやクラッチ等、作動部を動かしてください。

④ 注油してください。

グリス、オイルは弊社純正品（下記参照）をお使いください。そうでない場合の品質は保証いたしかねます。ご注意ください。

- SP-003H (メンテスプレーセット)
 - SP-013A (オイルスプレー)
 - SP-023A (グリススプレー)
 - SP-015L (ザルスリールオイルスプレー)
- ※最寄りの販売店にてお問い合わせください。

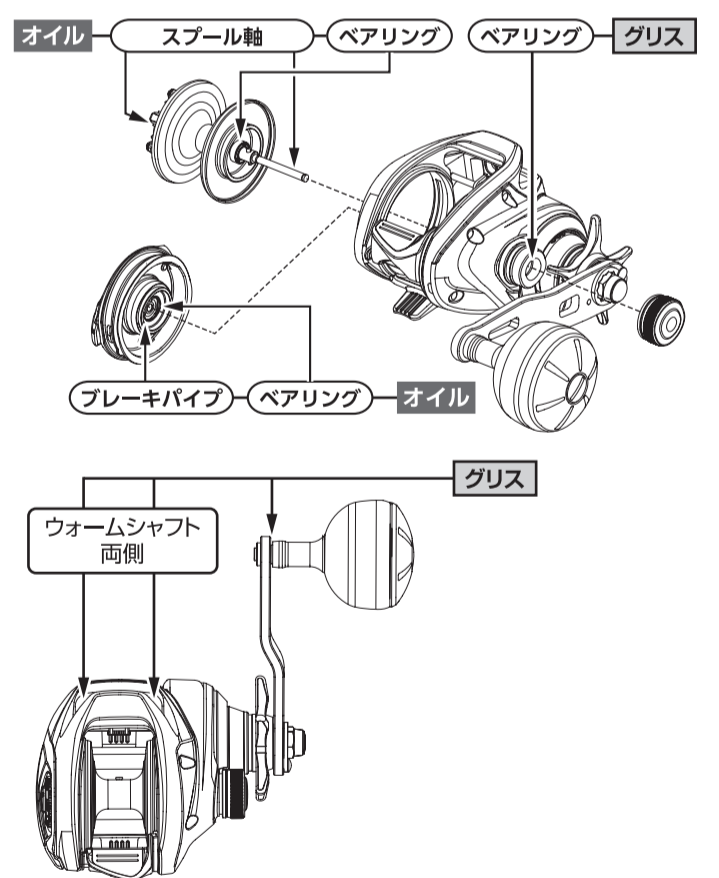
《注油上のご注意》

リールオイル、グリスがハンドルノブに付着したまま長期間放置すると、ハンドルノブが膨潤する場合がありますので、付着した場合はウエスやティッシュペーパー等で必ずふき取ってください。

シマノ以外のオイルは使用しないでください。オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいってください。ドラッグ部にはオイルは注さないでください。

※イラストは実際の製品と異なる場合がございます。

●注油箇所



⑤ 保管上のご注意

保管の際は必ず竿から取り外してください。また、なるべく乾燥した冷暗所に保管してください。濡れたまま湿度の高い状態で密封された空間（自動車のトランク、ダッシュボード等）に長時間放置されますと腐食を起こす可能性があります。

GRAPPLER
300HG
301HG
300XG
301XG